

令和6年度 東京都立拝島高等学校 全日制課程 学校経営計画

校長 西野 良仁

1 目指す学校

教育目標	活眼を開いて心身を鍛える。	
	1	日本国憲法・教育基本法の精神にのっとり、平和と民主主義を尊重する人を育てる。
	2	真理を求め、理想を目指す人を育てる。
	3	和を尊び、心豊かな人を育てる。
	4	自己を磨き、責任を重んずる人を育てる。
スクール・ミッション	生徒が将来、社会で活躍できる力を身に付けることを最も重視し、その達成のために、学習指導、生活指導、進路指導等全ての教育活動を展開する「進路指導重点主義」を掲げ、意欲的に進路実現を図ることができるよう、3年間の高校生活を通じて社会人として必要な基礎力を育成します。	
教育目標とスクール・ミッションを達成するために、次の3つのスクール・ポリシーで臨む。		
グラデュエーション・ポリシー	○全ての教育活動をととして、生徒が将来社会で活躍するために必要な力「社会人基礎力」を育成する。 ○「温かく厳しい指導」により人権尊重の理念を理解させ、社会生活の基本的なルールを身に付けさせ、真に自立した社会人を育成する。	
カリキュラム・ポリシー	○高度な高等教育を受けることができる資質・能力の育成 考え抜く力(シンキング):課題発見力、思考力、判断力、創造力 ○生涯をかけてキャリアを積んでいける資質・能力の育成 前に踏み出す力(アクション):主体性、チャレンジする力、実行力 ○グローバル化の進展により社会の環境変化を生き抜く資質・能力の育成 チームで働く力(チームワーク):協調性、規律性、多様性、高い倫理観 ○知識やスキルを自ら随時アップデートすることができる資質・能力の育成 振り返る力(リフレクション):何を学ぶか。どのように学ぶか。どう活かすか。	
アドミッション・ポリシー	本校は、生徒一人一人が学校に誇りを抱き、今日の成長を実感し、明日もまた登校したいと心待ちにする学校を目指しています。「進路指導重点主義」により高い進路目標にチャレンジする生徒を育成し、「温かく厳しい指導」により社会人基礎力を確立し学校及び社会のルールやマナー等を自発的に守れる生徒を育成していきます。このことを理解し、次の項目に該当する生徒の入学を期待します。 ○学習習慣を身に付け、文系・理系を問わず更なる学力の向上を目指すことができる生徒 ○高校3年間で自己の能力を高め、一步上を目指す進路実現にチャレンジすることができる生徒 ○中学校3年間を通じて、基本的な生活習慣を身に付けており出欠状況が良好な生徒 ○物事の良し悪しを正しく見極め、学校及び社会のルールやマナーを守ることができる生徒 ○生活の中心を学校に置き、学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に取り組むことができる生徒	

2 中期的目標とその達成に向けた方策

「進路指導重点主義」に基づく、拝高フィロソフィ 社会人基礎力を伸ばす学校づくり、落ち着いた学べる安全・安心な学校づくり			
中期的目標	全ての教育活動をととして、生徒が将来社会で活躍するために必要な力「社会人基礎力」を育成する。		
	1	【シンキング】 物事の本質を見抜く力、考え抜く力を育てる。(課題発見力、思考力、創造力)	
	2	【アクション】 一步前に踏み出し、粘り強く取り組む力を育てる。(主体性、チャレンジする力、実行力)	
	3	【チームワーク】 多様な人と共に、目標に向けて協力する力を育てる。(協調性、規律性、高い倫理観)	
	4	【リフレクション】 自己を振り返り、自己のキャリアを切り拓く力を育てる。(知識、技能をアップデートする力)	
方策	1	全ての授業において、生徒の能動的な学習参加の取組を工夫し、生徒の興味・関心を高め、基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させるとともに、考え抜く力を育て、知識や技能を効果的に活用できるようにする。	学習活動
	2	進路指導部主導の計画的、継続的、組織的な進路指導を教職員全員で実施し、目標の早期設定や高い志の維持等を図り、生徒の進路希望実現に取り組む。	進路指導
	3	「温かく厳しい指導」方針のもと、頭髪・服装指導等の厳格な指導をととして、生徒の規範意識や社会性を育成する。	生活指導
	4	部活動や生徒会活動等を充実させ、自発的活動を図り、生徒にチームワークの重要性を理解させるとともに、生徒の実行力や学校への帰属意識を高める。	特別活動
	5	生徒の基本的な生活習慣の確立、心身の健康の維持増進及び体力の向上を図る。	健康づくり
	6	開かれた学校づくりを推進するとともに、入学を希望する生徒及びその保護者へ、本校の「進路指導重点主義」「温かく厳しい指導」について十分な理解を図り、入学志望へと導く。	募集・広報活動
	7	全教職員が課題を共有し、「チーム拝島」で一丸となり協力して課題解決に取り組むとともに、各分掌における効率的な校務運営に取り組む。	学校経営
	8	「経営参画ガイドライン」「事務処理プラン」等を活用し、経営企画室の学校経営参画をより推進するとともに、各業務の進行管理を適切に行う。	学校経営

3 今年度の重点目標とその達成に向けた具体的方策

(1) 重点目標と具体的方策

重点目標	1	組織的な取組による規範意識の涵養
	2	組織的な取組による学力向上
	3	進路決定率の高水準での維持
	4	入学者選抜における応募倍率の上昇
	5	部活動の活性化
具体的方策	1	「温かく厳しい指導」のもと、朝 SHR の遅刻防止をはじめ、あらゆる教育活動において、時間厳守の指導を徹底する。
	2	社会人として、また良好な人間関係を築くうえで基礎となるコミュニケーション能力を向上させるとともに、あわせて挨拶を交わす指導を徹底する。
	3	学力向上研究校事業を活用した基礎ゼミで学び直しを図り、発展ゼミで上位中位の生徒を伸ばし、組織的に学力向上に取り組む。
	4	教育のDXを推進し、オンライン英会話を含めた学習環境を整え、グローバル人材の育成を図る。また、予習復習や自宅学習の課題の指示、小テストなどきめ細かな指導等を実施し、生徒の自宅学習、学習習慣の定着を図る。
	5	全ての教育活動を進路実現に関連付けながら指導し(進路指導重点主義)、進路決定率の高水準を維持する。また、文系・理系ともに進路先を積極的に開拓し、生徒の進路希望実現の選択肢を広げる。
	6	魅力ある授業、魅力ある行事、魅力ある部活動に取り組み、在校生及び中学生にとって魅力ある高校を実現する。
	7	近隣小中学校、地域自治会、昭島市との交流を促進するとともに、学校紹介動画を活用して幅広く募集広報活動を全員体制で展開し、中学生、地域等の外部からのニーズを捉え対応していく。
	8	部活動加入率を高める工夫を行い、全部活動の活性化・充実を図る。また、全校共同作業の「巨大貼り絵」を継続する。
	9	学校いじめ対策委員会を中心に、スクールカウンセラーとの連携を密にし、組織的に、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、自殺防止に向けて取り組む。また、体罰等の服務事故の根絶に取り組む。
	10	特別支援教育委員会を中心に、支援が必要な生徒の情報の共有や教員対象の研修会を通して、発達障害教育に対する理解を促進する。
	11	体力テストや体育祭等の体育的行事を計画的に実施し、体力や健康に関する意識啓発を図り、一層の体力向上を目指す。
	12	計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。また、年次有給休暇の計画的な取得を推進する。

(2) 数値目標

令和6年度の数値目標		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
①	一年間の延べ遅刻回数	4500回以下	4863回	3971回	2834回	3265回
②	入学してよかったと思う生徒の割合	80%以上	82.9%	76.3%	80.7%	66.2%
③	授業に対する生徒の満足度	80%以上	72.5%	75.0%	77.2%	70.8%
④	進路指導に対する生徒の満足度	90%以上	86.6%	89.1%	91.7%	82.5%
⑤	進路決定率	95%以上	96.9%	96.3%	98.3%	95.2%
⑥	入学者選抜 推薦応募倍率	2.10倍以上	2.11倍	2.09倍	1.70倍	3.24倍
⑦	入学者選抜 一次応募倍率	1.20倍以上	1.21倍	1.06倍	0.94倍	1.25倍
⑧	ホームページ更新回数	260回以上	255回	256回	188回	260回
⑨	部活動加入率	70%以上	69.9%	49.3%	66.0%	64.3%